

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は基本的には書面会議にはせず、対面会議を継続し、行政職員や町内会長なども参加して頂けているが、コロナ禍になってからは、ご家族の参加が極端に少なくなりました。議事録などは全家族には送っている。	毎回の会議に2~3家族には参加してもいい。利用者家族の立場での意見をもらいながら事業運営に反映していける様にする。また、会議に参加してもらい日々の様子などを会議を通じて理解を深めてもらう	①会議の案内文の見直し、面会時毎での会議参加への声掛け②次年度は都合のつく人への参加以来ではなく、毎回の会議で家族の代表者を任命し、代表者に参加を依頼する	12ヶ月
2	48	個別での散歩や、季節の花を見に行くなどは行っているが、コロナ禍で毎日利用者と一緒に出掛けていた買い物も職員のみとなり、ユニット毎での外出や外食行事も行えていない。	コロナ感染状況をみながら、買い物やユニット毎への外出が再開できる。また、個別外出の機会を増やしていく	①感染状況に影響を受けにくい個別外出の頻度を上げていける様にユニット会議などを通して啓発していく②人との接触の少ない場所へのユニット毎での外出の企画立案③感染状況を見ながら買い物への利用者の同行の検討	6ヶ月
3	34	事故発生時の対応や急変時の対応などのマニュアルや対応の確認などは、会議などを通して行っているが、今年度実際にコロナ感染者が発生しクラスターとなってしまった。趣味レーションを通じた確認が不十分であった	BCPに基づいた感染対策を職員全員が行えるようになる	①感染症に対するBCPの作成を職員の意見を確認しながら作成を行う②作成したBCPに基づき、実際の感染症の発生などを想定した趣味レーション訓練の実施③リスクマネジメント委員会でのBCPの随時見直し	6ヶ月
4	26	介護計画の立案に関して、ご家族には面会時などを通して意向を確認し、担当職員と計画作成担当者が主となり、介護計画を立案モニタリングを行っているが、一緒に話し合う場面がなかなか設けられていない	家族・担当者と顔を合わせながら介護計画の立案が行えるようにするとともに、計画策定から同意までのタイムラグを短くする	①介護計画の更新に合わせ、ご家族に来訪頂き、担当者も交えて介護計画の意向確認を行う②3か月ごとに介護計画の実施状況をご家族にも共有していける様にする③介護計画の意向確認・同意を目的とした来訪を依頼する	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。